

播磨南中学校陸上部から3人が全国大会へ

中学陸上全国大会(第36回全日本中学校陸上競技選手権大会)が8月21日(金)〜24日(日)に大分県で開催されました。出場が決まった播磨南中学校の選手3人が、町長を表敬訪問し「がんばってくださ」と激励を受けました。

- 佐久間翔太郎君 110メートルハードル、100メートルハードル
●下津明日香さん 砲丸投
●寺若麗さん 100メートルハードル



▲全国大会はずっと目標でした

兵庫播磨リトルシニアリーグ 全国大会出場!

兵庫播磨リトルシニアは、稲美町のグラウンドを本拠地に日々練習を重ね、兵庫県大会では4位に入賞し、第37回全国大会出場を果たしました。兵庫播磨リトルシニアのメンバーは、播磨・播磨南中学校の生徒を含む東は神戸市、西は高砂市の中学生です。「8月1日から始まる大会では、日ごろの練習の成果を精一杯発揮して悔いのない試合をします」ときっぱりと話してくれました。



▲表敬訪問をして健闘を誓いました

第14回播磨町夏まつりは、途中で中止となりました

7月25日(土)、第14回播磨町夏まつりが開催されました。およそ千人の人数がありましたが、午前11時ごろに激しい雨が降り出したために途中中止となりました。実行委員会では急きょ、町内にまつりの中止を知らせる広報車を走らせ、住民の皆さんにお知らせをしました。夏まつりの中止は、実行委員会が運営する第1回以降14年間は初めてのことでした。



▲雨が降り出す前のステージ

サークル体験フェスタが、盛大に開催されました



▲ダンス体験に参加する子どもたち

中央公民館のサークル連絡協議会が主催し、様々な登録サークルを一堂に会して体験できる恒例の催し「サークル体験フェスタ」が、7月12日(日)に中央公民館で開催されました。今回は、いけばな教室をはじめ、前結び着物着付け教室、キッズダンス、仏像彫刻会など、11サークルが参加。約400人の参加者がいくつものサークルを体験して楽しむことができました。中央公民館には現在、登録サークルが60サークルあります。今後も年1回のサークル体験フェスタを開催する予定です。興味のあるサークルがありましたら、いつでもお気軽に中央公民館までお問い合わせください。

図書館イベント盛りだくさん

7月18日(土)、中央公民館で恒例の「としょかんまつり」が開催されました。日頃は図書館で活動をしているボランティアグループが公民館2階の各部屋で一斉にストーリーテリング、人形劇、紙芝居などを披露して、たくさんの子どもや大人を物語の世界に導いていました。



7月17日(金)には、積極的に地域に出て活動を展開している播磨南高等学校吹奏楽部によるまちかどコンサートを開催。図書館の中庭での開催予定でしたが、あいにくの天候のため急きょ児童図書コーナーでの演奏となりました。読書中の耳にも心地よい美しい落ち着いたハーモニーやギターの音色は、偶然図書館に居合わせた人にも好評でした。

東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の行政広報番組です。

9月の放送予定(収録場所 加古川市) 前半 9月7日(月)〜20日(日)

- 特集 たかさご万灯祭2009(高砂市)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 9月21日(月)〜10月4日(日)

- 特集 がん検診を受けましょう(加古川市)
●ゆうゆうライフ(稲美町)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送)30分番組 月・水・金 ①午前9時 ②午後1時 ③午後11時30分 火・木 ①午前9時30分 ②正午 ③午後9時30分 土・日 ①午前8時 ②午後5時 ③午後9時

わんぱくはりまっ子



ひらおか りゅうのすけ 平岡 龍之介くん(2歳)

野添南

元気モリモリわんぱく坊主になってね☆ 家族のみんなより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

今日は、干したばかりのタコを表紙にしました。まだピンク色でみずみずしく厚みのある足をしています。これを2日ほど強い夏の日差しに干して「干しタコ」が完成します。お邪魔した古宮漁港では、水槽の中にイキのいいタコが入っています。重なり合っている様子が見られませんでした。今年は、たくさんタコが採れているそうです。すぐそばにある作業場では、内臓を取り出して頭に竹の輪が入った状態のタコが足をだらんと下ろした状態で並べられ、漁協の方の手で大きく足を広げた形に整えられていきました。干す作業は晴天が連続する日に集中するため、この日はとても忙しそうなお様子で作業しておられました。(宮)

いいね! はりま

町政 レポート No.32



▲加古川市在住の原爆被害者の講話

私たちの子どもの頃は、梅雨と言えばジメジメとした雨が連日降り続く雨景色の6月でした。ところが今年の梅雨は長く、8月に入ってからようやく梅雨明けとなりました。梅雨が明けないうちから「せみ時雨」が聞こえ始め、各地で豪雨の被害も多く発生し、播磨町でも夏まつり当日の悪天候により中止を余儀なくされました。ご準備いただいた皆さま方には大変ご迷惑をおかけいたしました。確実に地球環境が変わってきているという印象はぬぐえません。

■播磨町では昭和57年に「核兵器廃絶の町宣言」をし、夏にいくつかの平和事業を実施しています。戦後64年目を迎える今年、7月31日に平和祈念講話会を開催しました。町内の中学生358人と一般住民が参加され、映画「人間をかえせ」を上映後、加古川市原爆被害者の方々に戦争・原爆の体験談を講話していただきました。戦後64年、被爆者の方々も高齢になられましたが、戦争の記憶を風化させたくないという熱心に語っていただきました。また、8月1日には、平和映画会を開催し「アイ・ラブ・ピース」を上映しました。地雷で片足を失くしたアフガニスタンの少女に義足を製作する義肢装具士のお話です。まだ100万個の地雷が国中に埋設されたアフガニスタンでは現在も地雷の犠牲者が後を絶ちません。また日本の国では原爆の被爆者が今なお後遺症と社会的差別で苦しんでいます。「私の国は私が生まれる前からずっと戦争をしていました。だから平和がどういふものなのかよくわかりません。ただ、地雷の恐怖から解放され、どこでも自由に歩けることが平和なら、私は平和を愛します。(映画より)」戦争を知らない世代が大多数を占める今の日本ですが、この平和がかつての大きな犠牲の上にあることを忘れてはならないと思います。

播磨町長 清水ひろ子